

○議長（門脇直樹君） 会議を再開いたします。

1 番議員の一般質問を許します。1 番水木壽保君。

○1 番（水木壽保君） 傍聴の皆様、今日暑い中、最後までよろしく申し上げます。1 番、通告により一般質問をさせていただきます。

鳥獣害対策について質問を行います。

日頃より八峰町猟友会には、クマの目撃のあるたび出動し、捕獲やサルやクマの里からの追い上げや定期的な見回りなど、猟友会の皆様には日頃より感謝申し上げます。昨年はクマに襲われけがをし入院するなどの事故があり、今年も活発に動き回る時期に来ている。県外ではクマの出没情報が新聞に掲載されない日はない。今年には既に、サル捕獲18頭、クマ18頭となっている。昨年、埼玉県飯能市に鳥獣害対策について視察の取り組みを見てまいりましたが、クマ、イノシシ、ニホンジカ、アライグマなどの捕獲が年間200頭とこのことで、檻による捕獲でシルバー人材センターに委託し、設置回収をしてもらっている。我が町でも、ハクビシンやアナグマなどが増えているように見える。民家の周りに毎日のように現れ、農作物を食い荒らす被害が増えている。檻を使った捕獲等を増やす考えはないか。

2 丁目、河川改修について。

我が町では、ここ4年間、幸いにも大きな水害から逃れている。しかしながら、全国では毎年のように豪雨による水害や土砂災害が発生し多くの人命が奪われているほか、集落が孤立するなど多発している。我が町でも、いつこのようなゲリラ豪雨による災害が発生するか分かりません。今、台風は連続して発生するなど、大雨による孤立集落が発生することも考えられます。川の中には柳が生えている場所も見られます。避難道路やバイパスが必要と考えるが、町長の考えは。

3、ナラ枯れ対策について。

今年是非常にナラ枯れが多く発生しているように見える。今までは里山であったが、今年には水源涵養保安林まで拡大し、個人では伐採できない所まで広がりを見せているが、町の対応はどのようにするのか。町長お願いします。

以上。

○議長（門脇直樹君） ただいまの1 番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。

森田町長。

○町長（森田新一郎君） 水木議員のご質問にお答えいたします。

最初に、「鳥獣被害について」お答えします。

町では現在、ツキノワグマとニホンザルを檻で捕獲する有害鳥獣として県から許可を得ており、ツキノワグマでは八森地区に5基、峰浜地区に4基の計9基、ニホンザルでは八森地区に6基、峰浜地区に11基の計17基の檻を設置しています。また、今年8月時点における檻による捕獲数は、ツキノワグマが14頭、ニホンザルが5頭となっており、このほか銃器による捕獲と合わせると、ツキノワグマ、ニホンザルそれぞれ18頭となっています。

町では、町民を対象に農作物の有害鳥獣被害対策として、被害防止用の網や追い上げのための花火などを提供していますが、その際の聞き取りでは、ツキノワグマとニホンザル以外にもハクビシンやタヌキ、議員ご指摘のアナグマによる被害を訴える声もありました。

町は現在、20基の檻を所有していますが、17基は既にニホンザル捕獲用として設置済みであります。残り3基については、県知事の許可を得て、アナグマの捕獲に充てることは可能であります。

アナグマを捕獲する檻をさらに増やすことにつきましては、町所有の檻については保管しているスペースに余裕がないこと、また、八森と峰浜の猟友会でそれぞれ5基所有・管理しているツキノワグマ用の檻についても、町と同様に保管場所で苦慮していることから、町も猟友会も檻を増やすことは難しい状況にあります。

このため町としては、農家が設置する電気柵等の購入費用を支援する事業の活用を促したいと考えています。補助率2分の1、上限額10万円ではありますが、今年度は6名の方が申請し、被害軽減に繋がっていると伺っております。また、昨年度から使用し一定の効果が確認された忌避剤について、アナグマにも効果があるか機会を見て試験したいと考えております。

これから実りの秋を迎え、収穫物を目当てに有害鳥獣の活動が活発になるものと考えます。これまで申しあげました有害鳥獣以外にも、イノシシやニホンジカの被害も懸念されています。町といたしましては、先ほどの電気柵の設置に支援する一方で、住宅周辺で有害鳥獣を誘引する放任果樹や収穫しない野菜等の除去を広く町民に呼びかけるとともに、有事の際には、猟友会や警察等関係機関と連携協力しながら、人身被害が発生しないよう迅速に対応してまいります。

2問目の「河川改修について」お答えします。

埴川の氾濫については、平成5年、7年、10年、27年に浸水被害が生じています。特に横内集落においては、平成10年6月に床上浸水が3戸、平成27年7月に床下浸水が2戸ありました。

こうした埴川の氾濫状況を踏まえ、町では、河川管理者である県に、新規事業として早期に埴川の河川改修事業に取り組んでいただくよう、繰り返し要望してまいりました。県では、平成28年度に埴川の一部区間を調査し、平成30年度には、浸水被害を軽減する治水対策を検討するため、「埴川河道改良計画検討業務」を実施しています。田中橋から河口までの延長2.1kmの区間は改修済みであります。田中橋より上流部の改修に当たっては、まず「工事实施基本計画」を策定する必要があり、検討いただいているところであります。

また、堆積土砂の浚渫や立木の伐採などについては、河川の流下能力を確保するため、状況に応じて県から毎年実施していただいております。障害となる箇所等をお知らせいただければ、優先的に対処いただくよう要望しますのでよろしくお願いたします。

大信田地区の孤立を防ぐための避難道路としてのバイパス計画については、町としてもその必要性を十分認識しています。これまで、長年にわたり避難路として有効なルートを探し検討してまいりましたが、計画区間の地権者を確認する段階で、所々に用地の筆界未定や相続関係における所有権移転の未登記、抵当権設定などの要因により用地買収が見込めないことから、事業化できずにいる状況にあります。

このバイパス計画の目的は、埴川の河川沿いに住んでいる住民の生命と財産を守ることです。地元の皆様には地権者情報をお寄せいただくなど、さらなるご協力をお願いいたします。

次に、「ナラ枯れ対策について」のご質問にお答えいたします。

町では平成27年度に、滝の間と本館地区で初めて31本のナラ枯れ被害木が確認されました。その後、被害は年々拡大し、平成29年度には4,246本を確認、昨年度までに被害が確認された本数の合計は9,265本で、八森地区で8,014本、峰浜地区が1,251本となっており、被害の範囲も里山から奥山まで広範囲に及んでおります。

ナラ枯れ被害は、能代山本の全市町で確認されておりますが、本町が突出して多い理由を、県では、能代山本には228万 m^3 の広葉樹資源があり、そのうち八峰町は約4割の93万 m^3 を占めていることから被害も多いと分析しております。

また、県では今月上旬にヘリコプターを使って被害の調査を実施しており、年内には

調査結果が出るものと思われます。

ナラ枯れの被害木について、町では、国や県の補助事業を活用し伐倒・くん蒸処理等により対応しており、今年度も八森地区において駆除を行う予定ですが、被害本数が余りにも多いことや、道路もなく機械が入れない場所、急斜面で作業的に危険な場所などが多いこともあって、残念ながら駆除できるのは限定的というのが現状であります。

ナラ枯れ対策については、今後とも国や県の補助事業を活用しながら防除や駆除に努めるとともに、被害の拡大を未然に防止するため、森林組合等が行う更新伐による高齢ナラ材の積極的な伐採・利用を促してまいります。

また、昨年度より国から交付されている森林環境譲与税をナラ枯れ対策事業に活用できないか県と相談し、被害の拡大防止に繋がる方策の一つとして検討してまいります。

○議長（門脇直樹君） 1番議員、再質問ありませんか。1番水木壽保君。

○1番（水木壽保君） 鳥獣害対策についてですが、なぜハクビシンや小動物を檻で捕獲するかということについてですが、クマ、サルは姿が見えます。ハクビシンなどに寄生するダニは、民家の周りに生息していますので、ダニが密集するというか増えていきます。それによって、今、秋田県では風土病かな、ツツガムシ病とかなりです。前は山へ行ってきた人がなったりしていますけども、これからは里の民家のそばで刺されたりして高熱を上げたりする人が多くなると思うので、檻が必要でないかと思っております。その点、町長はどのように考えていますか。

○議長（門脇直樹君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 私、ハクビシンに寄生するダニの話、初めて聞きました。勉強不足ですみません。そういう形でツツガムシと繋がるのであれば、これはまず大変な話になりますから、その辺はちょっと勉強させてください。

それとやっぱりアナグマ、ハクビシン、死んだ時しか姿見えません。寝てる間にしか活動しないので。私も町長になる前にトウモロコシ200本以上やってたんですけど、明日採ろうかという時にゴソッとみんなやっついていかれ倒れているんで、その部分の怖さは知ってますけれども、アナグマについては、まず電気柵の部分を活用してやってみて、網だけやっても駄目です。もぐられてね、どういう形も駄目ですし、ちょっとした囲いだけでやっても全部引きずり回されて壊されて持ってかれますので、これも駄目なので、まあそういう電気柵の部分と、あとは檻の部分についてもいいんだかもしれないんだけど、そこの部分についてはまだ調整不足があります。檻の数の問題で確保する部分の問題あ

りますので。ただ、ハクビシンがツツガムシに繋がるっていう話になれば別問題ですので、それは別途また検討させていただきます。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。1番水木壽保君。

○1番（水木壽保君） 今、ハクビシンとかダニを言いましたけども、このペットとか犬、猫にも行くので、それから人間に行くので、関西ではそれで亡くなった人もおります。まあ秋田県では風土病なので、その点は病院へ行けばすぐ治ると思いますけども、ということなので今後対応を考えてもらいたいと思います。

○議長（門脇直樹君） 答弁求めますか。

○1番（水木壽保君） はい。

○議長（門脇直樹君） 当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） まず本当に健康被害に繋がるという部分があればこれはちょっと別問題になりますので、その部分については早急にちょっと調べさせてもらいたいと思います。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。1番水木壽保君。

○1番（水木壽保君） 河川改修についてですけども、毎回質問してるわけですけども、なかなか決まらなと。職員の皆さんは大変苦勞していると思いますけども、頑張っていると思いますけども、少しでも早くできるように何回か足を運んでいると思います。地域のことでありますので地域で全体を考えてお願いするなどして、早急に災害に被害をなくするようにできる方法を模索してもらえればと思いますけども、その点答弁をお願いします。

○議長（門脇直樹君） ただいまの質問に対し、当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 本当に長年にわたる地域問題、なかなか解決できずに本当申し訳なく思うんですが、まずこの部分については、埴川の氾濫防止、河川改修、まあ氾濫防止すればダブルトラックの避難バイパスいらなくなるんですが、河川改修の部分が先ほど答弁したようにちょっとずつ動いてきてますので、あとは例のあそこの橋ですから、あそこをどうするかが一番問題なんで、まあ河川改修部分については非常に振興局も前向きに考えてくれてますので、徐々に進めていくと思います。

それから、バイパスの部分については、先ほど言ったぐらいの筆界未定のところ、あそこら辺を避けるルートができないか。いわゆるあれよりも南側の方に。せば、そこ水あふれた時に水浸かってしまうんですけど、そこをやるったら工事費かかりかかり増し

するんですが、盛土してやる手はないのかなってということまでも今検討してますので、まあ自治会の部分の人方との相談しながらやっていかなきゃいけない問題ですので、その節にはよろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。1番水木壽保君。

○1番（水木壽保君） その点、早めに住民が安心して暮らせるようよろしくお願ひして、この件はこれで終わりたいと思ひます。

○議長（門脇直樹君） 3問目のナラ枯れ対策について質問ありませんか。1番水木壽保君。

○1番（水木壽保君） ナラ枯れ病ですが、もう10年前かな、私が森林組合の組合長やっていた時にナラ枯れ病が来るよということ、それで最初1年前は石川地区の雑木を伐採したり、あと2年目は埴川地区をやったんですけども、うちの方の山は急斜面しかあとできないということ、それに森林組合の方、白神森林組合も作業班が今いないというか、前からお願ひはしてるんです。ナラ枯れ病つけば何にもなくなるので。ただ、まあ薪しかならないということ、一番心配してるのは、私が、だんだん上に上がれば今水道の水源地まで行ってしまうので、それが一番心配しています。それが水がっていうか、水道の水は雨が降らないとたまらないし、木がなくなれば保水力がないということ、この点ものすごく心配してるんですけども、町長はどう思ひますか。

○議長（門脇直樹君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。森田町長。

○町長（森田新一郎君） 確かにナラ枯れが進んでいけば、こう立ってる木が枯れていきますから保水力当然落ちてきます。ただ、ナラ枯れの場合は、年いった木だけがナラ枯れ病にかかります。若い木自体はナラ枯れ病にかからない。まあ昔は炭とかシイタケ栽培の原本に使うとか、まあそういう部分で有効に活用してあったもんだからナラ枯れ病なかったんですけど、今はそういう部分も活用されないままになってますので、こうナラ枯れ病が老木中心にかかっているというのが現状です。水源地に及ぶか及ばないのか、こちら辺はどのくらいかかるのか分かりませんが、ただ現実先ほど申し上げましたように、重機も入れないようなそういうところなものですから、それと急斜面で、もし万一が災害事故が起これば大変な話になるので、なかなか難しい問題で、引き続き県と相談しながら対応していかなければいけないなと思ひます。実際に8割方が峰浜でなくて八森地区の方が多いんですね。実際、国道走ってみるとね、こう新緑の時期なのに紅葉みたいな形に見えて分かるんですけど、まあやっぱり何とかしなきゃいけない問題なる

んですけど、非常に難しいなと思ってます。だからその部分でお金で解決できる部分があればっていうことで、森林環境税をうまく活用できないかなという部分を今、県と相談してます。いずれ何とかしなきゃいけないんですが、これもなかなか難しい問題です。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問ありませんか。

○1番（水木壽保君） ありません。

○議長（門脇直樹君） ほかに質問がないようですので、これで1番議員の一般質問を終了します。

これで本日の日程は全部終了しました。

本日の会議を閉じます。

なお、次回の本会議は、9月11日午後1時より開会します。

これにて散会します。ご苦労様でした。

午後 2時17分 散 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 門 脇 直 樹

同 署名議員 11番 皆 川 鉄 也

同 署名議員 1 番 水 木 壽 保

同 署名議員 2 番 山 本 優 人